臭化カリウム　KBr〔特級〕
臭化カリウム、赤外用　臭化カリウム単結晶又は臭化カリウム〔特級〕を砕き、200号(74μm)ふるいを通過したものを集め、120℃で10時間又は500℃で５時間乾燥した粉末である。これを用いて錠剤を作るとき、異常な吸収を認めてはならない。
臭化シアン試液　氷冷した水100mLに臭素１mLを加え、激しく振り混ぜた後、氷冷したシアン化カリウム試液を臭素の色が脱色するまで滴加する。この試液は、ドラフトの中で用時調製する。
　この試液の蒸気は、極めて有毒であるから、取扱いに際し、吸入しないよう注意する。
臭化シアン試液、ジベンゾイルチアミン定量用　氷冷した水100mLに臭素２mLを加え、激しく振り混ぜた後、氷冷したチオシアン酸カリウム試液を臭素の色が脱色するまで滴加する。この試液は、ドラフトの中で調製し、冷所に保存する。調製した後１か月以内に用いる。
　この試液の蒸気は、極めて有毒であるから、取扱いに際し、吸入しないよう注意する。
臭化水素酸ハロフジノン　$C_{16}H_{18}Br_2ClN_3O_3$　白色～灰白色の粉末である。
　含量　98.0%以上
　純度試験　本品0.020g（0.0195～0.0204g）を量り、クロロホルム・メタノール・水混液（３：３：0.5）10mLを加えて溶かし、この溶液10μLを薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に、クロロホルム・メタノール・アンモニア水混液（75：25：１）を展開溶媒として、約15cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長254nm）を照射するとき、Rf値約0.3の位置に単一のスポットを認め、その他のスポットを認めてはならない。
　定量法　本品を乾燥し、その約0.3gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、メタノール60mL及び酢酸第二水銀試液10mLを加え、0.1mol/L過塩素酸で滴定する（電位差滴定法）。同様の方法で空試験を行い補正する。
　　0.1mol/L過塩素酸１mL＝49.56mg$C_{16}H_{18}Br_2ClN_3O_3$
臭化水素酸ハロフジノン（シス異性体）　$C_{16}H_{18}Br_2ClN_3O_3$　白色～灰白色の粉末である。
　含量　98.0%以上
　純度試験　本品0.020g（0.0195～0.0204g）を量り、クロロホルム・メタノール・水混液（３：３：0.5）10mLを加えて溶かし、この溶液10μLを薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に、クロロホルム・メタノール・アンモニア水混液（75：25：１）を展開溶媒として、約15cm展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長254nm）を照射するとき、Rf値約0.5の位置に単一のスポットを認め、その他のスポットを認めてはならない。
　定量法　本品を乾燥し、その約0.3gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、メタノール60mL及び酢酸第二水銀試液10mLを加え、0.1mol/L過塩素酸で滴定する（電位差滴定法）。同様の方法で空試験を行い補正する。
　　0.1mol/L過塩素酸１mL＝49.56mg$C_{16}H_{18}Br_2ClN_3O_3$
臭化第二水銀　$HgBr_2$〔特級〕
臭化第二水銀紙　臭化第二水銀５g（4.5～5.4g）にエタノール100mLを加え、穏やかに加熱して溶かし、この溶液に、クロマトグラフ用ろ紙を幅約４cm、長さ約10cmに切ったものを暗所で約１時間浸した後、試験に用いる部分に直接手を触れないようにして溶液から引き上げ、ガラス棒につり下げて自然に乾燥させる。乾燥した後、周囲を切り捨て、約20mm^{2}に切り、さらに、四隅を切り取る。遮光して暗所に保存する。
臭化ナトリウム　NaBr〔特級〕
重クロム酸カリウム　$K_2Cr_2O_7$〔特級〕
重クロム酸カリウム（標準試薬）　$K_2Cr_2O_7$〔容量分析用標準試薬〕
シュウ酸アンモニウム　$(NH_4)_2C_2O_4・H_2O$〔特級〕
シュウ酸アンモニウム試液　シュウ酸アンモニウム3.5g（3.45～3.54g）に水を加えて溶かし、100mLとする（0.25mol/L）。
シュウ酸アンモニウム試液、0.07mol/L　シュウ酸アンモニウム0.8g（0.75～0.84g）を水80mLに溶かす。
シュウ酸ナトリウム（標準試薬）　$C_2O_4Na_2$〔容量分析用標準試薬〕
シュウ酸N-（１-ナフチル）-N′-ジエチルエチレンジアミン　$C_{18}H_{24}N_2O_4・1/2H_2O$〔N-１-ナフチル-N′-ジエチルエチレンジアミンシュウ酸塩、特級〕　遮光して保存する。
シュウ酸N-（１-ナフチル）-N′-ジエチルエチレンジアミン試液　シュウ酸N-（１-ナフチル）-N′-ジエチルエチレンジアミン１g（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。
臭素　Br_2〔特級〕　暗赤褐色の揮発性の液体で刺激性が強く、腐食性があり、水に溶けにくく、エタノール又はエーテルに溶ける。
臭素試液　臭素を水に飽和して調製する。栓にワセリンを塗った共栓瓶に臭素２～３mLを入れ、冷水100mLを加え、密栓して振り混ぜる。遮光して、できる限り冷所に保存する。
臭素酸カリウム　$KBrO_3$〔特級〕
臭素酸カリウム・臭化カリウム試液　臭素酸カリウム1.4g（1.35～1.44g）及び臭化カリウム8.1g（8.05～8.14g）を水に溶かし、100mLとする。
酒石酸カリウムナトリウム　$KNaC_4H_4O_6・4H_2O$〔酒石酸カリウムナトリウム（ロッセル塩（セニエット塩））、特級〕
酒石酸水素ナトリウム　$NaHC_4H_4O_6・H_2O$〔特級〕
酒石酸水素ナトリウム試液　酒石酸水素ナトリウム１g（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、10mLとする（１mol/L）。用時調製する。
消化血清　黄色の粉末である。
　乾燥減量　５%以下（１g，85℃，１時間）
　溶解性　本品の溶液（１→100）をpH7.0に調整し、121℃で15分間高圧蒸気滅菌するとき、不溶物を認めない。
　pH　本品の溶液（１→100）を121℃で15分間高圧蒸気滅菌するときのpHは、5.5～7.0でなければならない。
硝酸　HNO_3〔特級、比重　約1.42〕
硝酸、希　硝酸10.5mLに水を加えて100mLとする（10%）。
硝酸銀　$AgNO_3$〔特級〕
硝酸銀試液　硝酸銀17.5g（17.45～17.54g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする（0.1mol/L）。遮光して保存する。
硝酸コバルト　$Co(NO_3)_2・6H_2O$〔特級〕
硝酸ストロンチウム　$Sr(NO_3)_2$〔硝酸ストロンチウム（無水）、特級〕
硝酸第二水銀試液　黄色酸化第二水銀40g（39.5～40.4g）に硝酸32mL及び水15mLを加えて溶かす（２mol/L）。遮光した共栓瓶に保存する。
硝酸鉛　$Pb(NO_3)_2$〔特級〕
蒸留水　精製水を用いる。
硝酸マグネシウム　$Mg(NO_3)_2・6H_2O$〔特級〕
硝酸マグネシウム試液　酸化マグネシウム3.75g（3.745～3.754g）に水30mLを加え、硝酸10mLを徐々に加えて溶かす。放冷した後、水を加えて50mLとする。
食塩　NaCl〔塩化ナトリウム、白色〕
シリカゲル　無定形の一部水加性のケイ酸で、不定形ガラス状顆粒である。乾燥剤用として水分吸着により変色する変色料を含ませたものもある。110℃で乾燥して元の色に戻す。
　強熱減量　６%以下（２g，950±50℃）
　水分吸着能　31%以上
　　本品約10gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、はかり瓶に入れ、蓋を除いて比量1.19の硫酸で湿度を80%とした容器内に24時間入れた後、質量を量り、試料に対する増量を求める。